

平成28・29年度 国立教育政策研究所  
「教育課程研究指定校事業(地理歴史)」研究協議会

# 地理歴史科の 科目相互の連携を図った 授業実践の研究

✿ 北海道伊達緑丘高等学校

◇日時◇ 平成29年2月9日(木)  
◇会場◇ ビジョンセンター東京



# 学校概要 (北海道伊達緑丘高等学校)

◇開校 昭和58年(34年目)

◇全日制普通科 4間口

平成28年度 1学年137名

2学年161名

3学年146名

(全校生徒合計 444名)

◇平成28年度入学者選抜

学力検査の結果(300点満点)

最高点 280 点台

最低点 120 点台

◇進路状況 (過去3力年)

進学…85.2%

就職…14.8%

国公立大…13名

私立大…76名

看護専門…25名

専門学校…57名

公務員…6名

民間就職…11名

(※一部重複・浪人含む)

# 北海道学力等実態調査（H27年度）

## ◇入学前との意識の変化

	高校入学前に比べ学習意欲が高まった	高校入学前に比べ授業以外の学習時間が増えた
本校	46.5%（↓）	36.8%（↓）
全道	66.7%	57.0%

## ◇平日の家庭学習時間

	ほとんどしていない	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上
本校	49.0%	37.4%	9.7%	3.8%
全道	28.4%	40.8%	20.9%	9.8%

# 北海道学力等実態調査（H27年度）

## ◇地理歴史・公民の勉強が好きだ

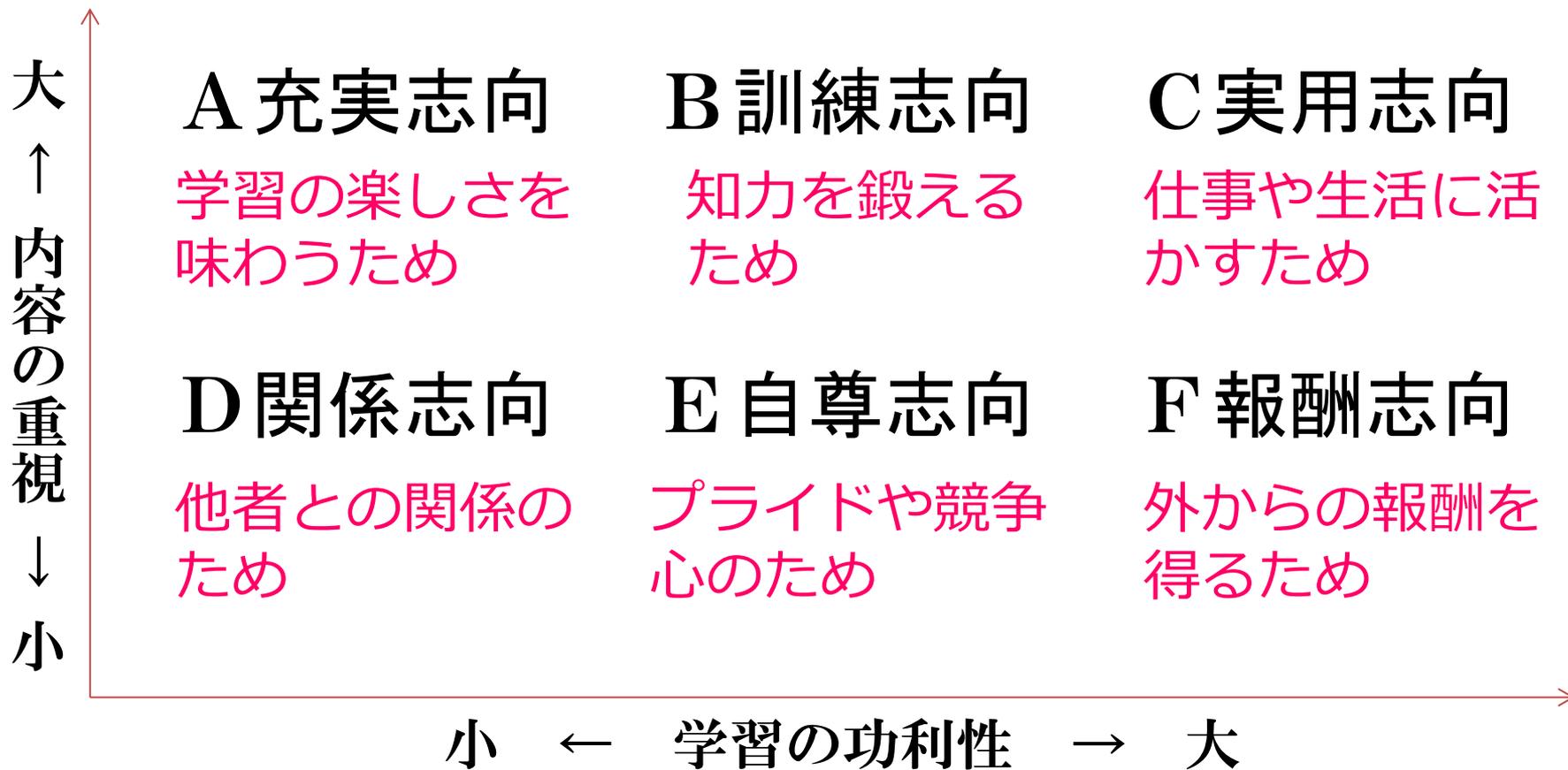
	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
本校	25.2%	37.4%	18.1%	18.7%
全道	23.1%	33.3%	28.0%	15.6%

## ◇地理歴史・公民の授業の内容はよく分かる

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
本校	18.7%	46.5%	26.5%	7.1%
全道	21.0%	44.6%	25.7%	8.8%

# 課題の明確化（学習動機）

## 学習動機の一因性モデル



(市川伸一, 2001年)

# 課題の明確化（学習動機）

## A 充実志向（学習の楽しさを味わうため）

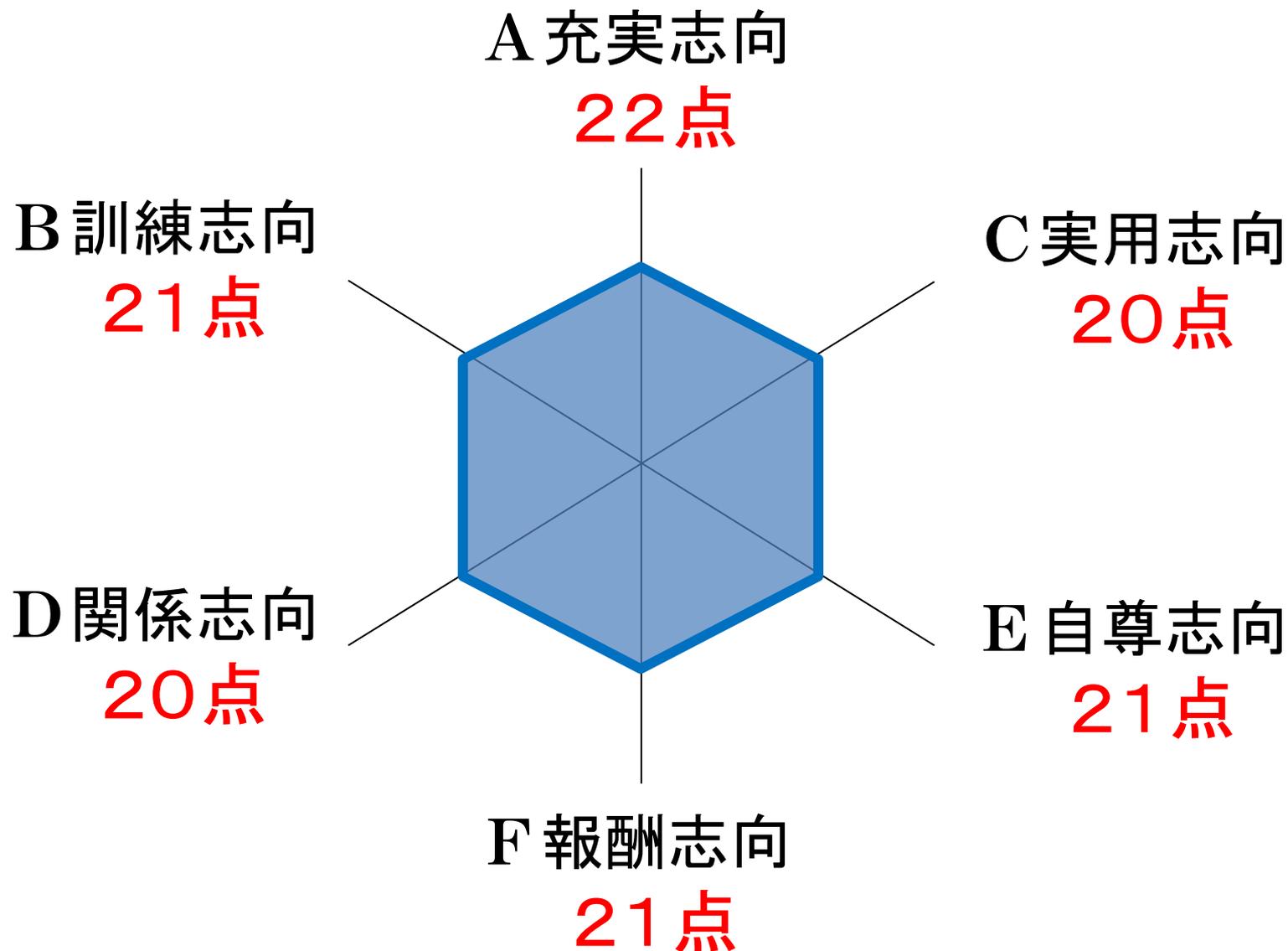
= 質問内容 =

- ①「新しいことを知りたいと思う」
- ②「いろいろな知識をもった人間になりたいと思う」
- ③「何かができるようになることは楽しいと思う」
- ④「わからないことがわかるようになると勉強はおもしろいと思う」
- ⑤「勉強しないと充実感が得られないと思う」
- ⑥「わからないことをそのままにしておきたくないと思う」

とてもそう思う	…	5点
ややそう思う	…	4点
どちらともいえない	…	3点
あまりそう思わない	…	2点
まったくそう思わない	…	1点

6つの質問 = 6点 ~ 30点

# 課題の明確化 (学習動機)



# 課題の明確化（学習動機）

問 あなたは“どんなとき”に「学習の充実感や満足感」を得ることができますか。次の項目について満足度の高い順から並べてください。

- A 新しい知識や技能を身に付けたとき
- B 難しい問題が解けるようになったとき
- C 学習で得られた知識や技能を活用したり、何かの役に立ったとき
- D 良い先生や友だちといっしょに学んだとき
- E 親や先生にほめてもらったり、友だちからすごいねなどと言われたとき
- F テストや模擬試験で良い点数を取ったとき

# 課題の明確化（学習動機）

第1位 **F** テストや模擬試験で良い点数を取ったとき

第2位 **B** 難しい問題が解けるようになったとき

第3位 **E** 親や先生にほめてもらったり、友だちからすごいねなどと言われたとき

第4位 **C** 学習で得られた知識や技能を活用したり、何かの役に立ったとき

第5位 **A** 新しい知識や技能を身に付けたとき

第6位 **D** 良い先生や友だちといっしょに学んだとき

# 課題の明確化（学習方法）

## 生徒の学習動機と学習方法

学習方法 … 学習の仕方の特性

「A 充実志向」「B 訓練志向」「C 実用志向」などの内容関与的動機が高い人ほど…

- 失敗を恐れずに成長・改善しようとする
- 答えよりも考え方のほうを大切にしている
- 学習の仕方を工夫しようとしている
- 丸暗記ではない意味の理解を大切にしている

# 課題の明確化（学習方法）

- 失敗を恐れずに成長・改善しようとする  
→ A 失敗に対する柔軟性
- 答えよりも考え方のほうを大切にしている  
→ B 思考過程の重視
- 学習の仕方を工夫しようとしている  
→ C 方略志向
- 丸暗記ではなく意味の理解を大切にしている  
→ D 意味理解志向

# 課題の明確化 (学習方法)

A 失敗に対する柔軟性

21点

B 思考過程  
の重視

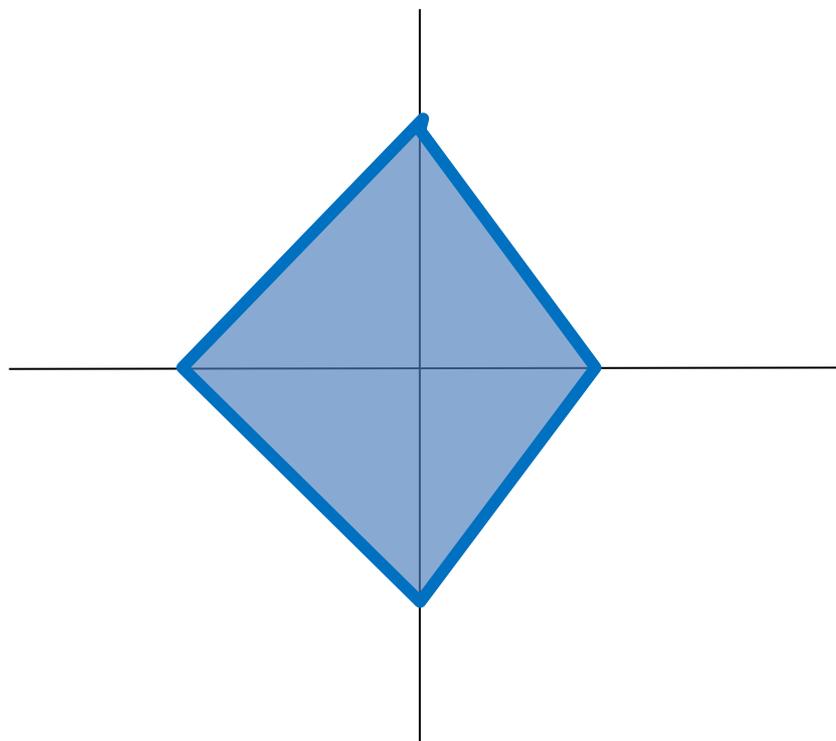
19点

D 意味理解  
志向

16点

C 方略志向

19点



# 地理歴史科における課題の明確化

質問「〇〇は全員必修とすべきか」

「世界史」

肯定的  
38%

否定的  
62%

「日本史」

肯定的  
60%

否定的  
40%

「地 理」

肯定的  
55%

否定的  
45%

# 地理歴史科における課題の明確化

質問 「○○を学ぶことは好きか」

「世界史」

肯定的  
40%

否定的  
60%

「日本史」

肯定的  
58%

否定的  
42%

「地 理」

肯定的  
43%

否定的  
57%

# 地理歴史科における課題の明確化

質問 「○○を学ぶことは将来に役立つか」

「世界史」

肯定的  
22%

否定的  
78%

「日本史」

肯定的  
43%

否定的  
57%

「地 理」

肯定的  
63%

否定的  
37%

# 地理歴史科における課題の明確化

質問 「〇〇を学ぶことは大切か」

「世界史」

肯定的  
64%

否定的  
36%

「日本史」

肯定的  
70%

否定的  
30%

「地 理」

肯定的  
74%

否定的  
26%

# 地理歴史科における課題の明確化

## 「世界史」に対する生徒の意識

「世界史」は全員  
必修とすべきか

肯定的  
36%

否定的  
64%

「世界史」を学ぶ  
ことは好きか

肯定的  
40%

否定的  
60%

「世界史」を学ぶ  
ことは役立つか

肯定的  
22%

否定的  
78%

「世界史」を学ぶ  
ことは大切か

肯定的  
64%

否定的  
36%

# 地理歴史科における課題の明確化

- ① 「テストで高得点を取る（良い評価や成績を得る）」や「受験のため」といった目先の外発的動機に基づく学習志向が強く、課題意識を高めて追究したり、新しい知識を得て活用したりしようとする意欲に乏しい。
- ② 生徒の学習が「用語を覚えること」でとどまっており、社会的事象の意味や意義、概念等を十分に捉えているとは言い難い。
- ③ 知識を活用したり、諸資料からの情報を読解したりする力、思考力・判断力・表現力等が十分ではない。

# 地理歴史科における課題の明確化

- ④特に「世界史」に対する苦手意識が強く、学習意欲や学習事項の定着度が「日本史」や「地理」に比べて低い。
- ⑤これまでの「地理歴史科」の授業では、科目相互の連携（関連を学ぶ）が不十分であり、例えば「世界史」において自然環境とのかかわりや日本史との関連から考察したりするなどの場面が少ない。
- ⑥主体的に学習する意欲や態度を高めさせる（家庭での学習習慣、主体的・協働的な学習や言語活動の充実を図るなどの授業改善）必要がある。

# 「本校の研究主題・研究内容」

## 地理歴史科における科目相互の連携を図った授業実践の研究

### 《研究仮説》

地理歴史科（世界史・日本史・地理）における科目相互の連携を図り、社会的事象の意味や意義、概念等を他科目と関連付けて総合的に捉えさせることで、地理歴史についての学習意欲や学力をより向上させることができるのではないかと。

# 課題解決に向けて～科目相互の連携～

## 科目相互の連携（地理歴史）の視点〈例〉

①各科目（世界史・日本史・地理）での軸となる学習内容に他科目の要素（エッセンス）を加え、多面的・多角的に考察を深める。関係や結びつき（接点）に触れ、時代を経るとともに世界が一体化していく過程をつかむ。《内容》

例) 東アジアの冊封体制、イラン文化と正倉院宝物、マルコ＝ポーロ、イエズス会によるカトリック布教……

（先行研究などを参考）

# 課題解決に向けて～科目相互の連携～

## 科目相互の連携（地理歴史）の視点〈例〉

②各科目で学習したこと（知識や見方）を活用して考察したり、教え合ったりする。《方法》

例) 「なぜ東南アジアでは国家間の経済格差が広がっているのか」について、地理的条件と歴史的背景の両面から考察する。その際、グループワークとして「地理」を履修した生徒に地理的条件を調べさせ、同様に「世界史」を履修した生徒に歴史的背景を調べさせ、相互に教え合う（ジグソー法・ロールプレイ等）

（先行研究などを参考）

# 課題解決に向けて～科目相互の連携～

## 科目相互の連携（地理歴史）の視点〈例〉

③社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連から、現代的な諸課題の解決（よりよい社会の実現に向けた世界や日本の在り方）について構想する。《目標・意義》

例) 資本主義は持続可能な経済といえるだろうか。その解決にはどうしたらよいか。

(先行研究などを参考)

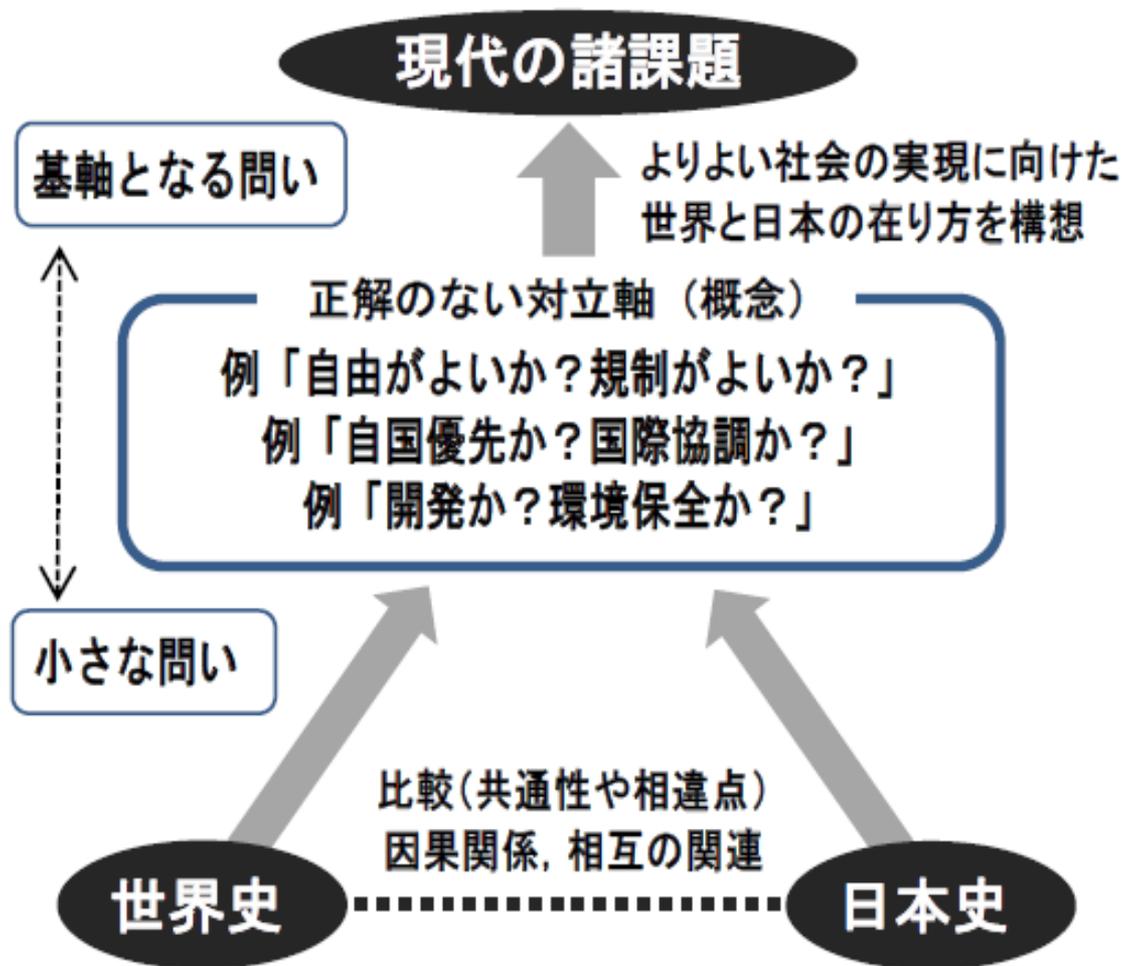
# 課題解決に向けて～科目相互の連携～

## 【今年度(1年目)の主な研究取組】

- (1) 他科目との関連を踏まえた授業実践
  - 「世界史A」を中心とした「日本史A」との連携
- (2) 地域の教育資源を活用した体験的学習
  - 北黄金貝塚を活用した「縄文体験学習」
- (3) 生徒の変容についての検証（アンケート等）
- (4) 公開授業・研究協議会等の実施
- (5) 研究成果の公開・普及

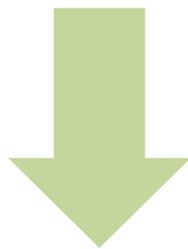
# 日々の授業実践

## ●「世界史A」と「日本史A」の連携 〈単元構成〉



# 日々の授業実践（歴史の比較）

例 ワークシートにおける年表（世界史と日本史との対比）



- ・用語の穴埋め
- ・比較して気が付いたことを記入させる

【産業革命関連史】関連年表 ※世界史と日本史との関連（つながり）を意識しよう！

イギリス産業革命の歴史	日本における産業革命の歴史
1710 ◆(8.....)が蒸気機関を発明	1853 ペリー来航
1733 ◎(9.....)が飛び針を発明<織機>	1854 日米和親条約が締結される
1764 ◎(10.....)が多軸紡績機を発明<紡績>	1858 日米修好通商条約が締結される
1789 ◎(11.....)が水力紡績機を発明<紡績> ◆(12.....)が蒸気機関を改良	1872 新橋・横浜間に鉄道開業 群馬県に富岡製糸場が開業
1779 ◎(13.....)がミュール紡績機を発明<紡績>	1873 臥雲辰蔵がガウ紡（水力）を発明<紡績> 飛び針が日本に紹介・普及される
1785 ◎(14.....)が力織機を発明<織機>	1874 神戸・大阪間に鉄道開業
1804 △トレヴィシックが蒸気機関車を発明	1877 大阪・京都間に鉄道開業
1807 △(15.....)が蒸気船を発明	1881 日本鉄道会社設立
1814 △(16.....)が蒸気機関車を実用化	1883 大阪紡績会社設立（狭沢栄一） ⇒ ミュール紡績機が導入される
1825 △ストックソン・ダーリントン間に鉄道開通	1889 東海連絡全線開通。民営鉄道の営業キロ数が官営鉄道を上回る
1830 △マンチェスター・リヴァプール間で鉄道営業開通 ◆は動力革命、◎は技術革命、△は交通革命ともよばれる！	1890 豊田佐吉が国産人力織機を発明<織機>
	1894 日清戦争（日本勝利） 領事裁判権が撤廃される
	1897 綿糸の輸出量が輸入量を上回る
	1901 官営八幡製鉄所が開業開始
	1904 日露戦争（日本勝利）
	1907 綿糸の輸出量が輸入量を上回る 日本製鉄所が室蘭に設立
	1909 世界最大の生糸輸出国となる
	1911 関税自主権が回復される

問 イギリス・日本両国における産業革命の歴史を比較して  
感じたことや気が付いたことを挙げなさい

☞ 共通点やちがひ、影響などに着目してみよう

# 日々の授業実践（諸資料からの考察）

【課題2】資本主義経済のデメリットを解決するにはどうしたらよいか？

A 1つの妖怪がヨーロッパをさまよっている——共産主義の妖怪が、旧ヨーロッパのあらゆる権力が、この妖怪を退治するために神聖な同盟を結んでいる。これまでのすべての社会の歴史は階級闘争の歴史である。……支配階級をして、共産主義革命のまえに戦慄させよ！プロレタリアは、この革命によって奴隷のほかに失うものを持たない。彼らの獲得するものは全世界である。万国のプロレタリア団結せよ！ ※プロレタリア＝労働者階級  
(マルクス・エンゲルス共著『共産党宣言』1848年発表・ドイツ)

B 貧富の差を打ち破る方策は20世紀における大問題と考える。18世紀末フランスを中心に欧米に広まった自由民権思想は、政治上の平等主義を実現するのに有効であったが、以来、物質的な進歩が著しく、昔の貴族・平民という階級制度に代わって、貧富という最もたちの悪い恐ろしいものが現れた。本来、経済上の平等が主で、政治上の平等は従である。だから立憲政治を行って政権を公平に分配したとしても、経済上の不公平がある限り、多くの国民の不幸は存在したままである。これが我が党が政治問題を解決するために、解決問題に全力をそそぐ理由である。 (新聞『万朝報』に掲載された『社会民主党の結党宣言』1901年発表・日本)

C ……製糸職工に接し、更に織物職工より甚しきに驚ける也。労働時間の如き、忙しき時は朝球を出でて晝に業に励し、夜業十二時に及ぶこと稀ならず。食物はワリ麦六分に米四分、寝室は豚小屋に類して醜陋観るべからず。 (横山御之助著『日本之下層社会』1899年・日本)

D 第一条 本法ハ左ノ各号ノ一ニ該当スル工場ニ之ヲ適用ス。  
一 常時十五人以上ノ職工ヲ使用スルモノ  
第二条 工場主ハ十二歳未満ノ者ヲシテ工場ニ於テ就業セシムルコトヲ得ズ。  
第三条 工場主ハ五歳未満ノ者及女子ヲシテ一日ニ付十二時間ヲ超エテ就業セシムルコトヲ得ズ。主務大臣ハ業務ノ種類ニ依リ、本校施行後十五年間ヲ限リ前項ノ就業時間ヲ二時間以内延長スルコトヲ得。  
第四条 工場主ハ五歳未満ノ者及女子ヲシテ午後十時ヨリ午前四時ニ至ル間ニ於テ就業セシムルコトヲ得ズ。 (『工場法』1911年公布・日本)

問1 A～Dの史料から読み取れることとして正しければ○を、そうなければ×で答えよ。

- ① ( ) 史料Aでは、労働者に対して資本家階級の打倒を呼びかけている。
- ② ( ) 史料Bでは、政治上の平等よりも経済上の平等を優先すべきと説いている。
- ③ ( ) 史料Cでは、衣食住については十分な境遇であったことが述べられている。
- ④ ( ) 史料Dでは、すべての工場に対して長時間労働を禁止している。

問2 A・Bの主張にあなたは賛成ですか？反対ですか？理由とともに述べよ。

私は ( 賛成 ・ 反対 )

**例** 世界史・日本史の史料から資本主義のメリット・デメリット(問題点)について考察させる。

- A 『共産党宣言』
- B 『社会民主党結党宣言』
- C 『日本之下層社会』
- D 日本の「工場法」



- ・情報の読み取り、把握
- ・ABの主張に賛成か反対か

# 日々の授業実践（歴史の評価）

**例** 「自由民権運動」は成功といえるか、失敗といえるか、歴史評価させる。



・学習事項をもとに歴史的  
事業の意味や意義について  
捉えさせる

【課題3】 明治日本の自由民権運動は成功？それとも失敗？

◆配付した「資料プリント」をもとに、自由民権運動の「成果（良かったこと）」と「マイナスの出来事（弾圧など）」についてそれぞれ箇条書きで挙げてみよう。

自由民権運動の成果（良かったこと）	マイナスの出来事（弾圧など）
例) 政黨がつくられたこと ..... ..... ..... ..... .....	例) 演説会が警官により制圧されたこと ..... ..... ..... ..... .....

《他の意見など》

明治の「自由民権運動」は成功といえるか、失敗といえるか。その歴史を評価してみよう。  
(もちろん正解はありません。自分の意見をもつこと、相手の意見をきくことが大切！)

○私は（ 成功 ・ 失敗 ）だと思います。なぜなら、  
.....  
.....



# 日々の授業実践（現代的な諸課題の形成）

【課題3】「海禁(鎖国)政策」と「自由貿易」のどちらがよいか、ミニディベートしてみよう。

私は「海禁(鎖国)政策」がよいです。

・  
・  
・  
・  
・  
・

私は「自由貿易」がよいです。

・  
・  
・  
・  
・  
・

《その他の意見》

**例** 「海禁(鎖国)政策」と「自由貿易」のどちらがよいか討論させる。



・現代的な諸課題の形成にかかわる歴史的事象について考察する



# 日々の授業実践（課題の解決・構想）

**例** 「単元のまとめ」として現代的な諸課題の解決に向け、自己の意見を述べさせる



・解決に向けて構想したり、合意形成したりする

## 単元のまとめ

すべての人間の基本的人権（自由、平等）が革命などの出来事を通じて獲得されたものであることを学習しました。とはいえ、現代を生きる私たちの社会には、さまざまな不自由や不平等があることも事実です。より自由で平等な社会をつくり上げるために必要なこと、大切なことについて、具体例を挙げるなどしてあなたの考えを述べなさい。

## 単元のまとめ

産業革命の歴史を踏まえ、次のA～Cに掲げる問題のうち、現代の日本において最も深刻であるとあなたが認識しているものを1つ選び、その現状について具体例を挙げ、さらに解決に向けたアイデアを提示しなさい。

A) 格差拡大      B) 環境破壊      C) 労働問題

## 単元のまとめ

日本でも公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳まで引き下げられましたが、依然として投票率が低いなど政治的無関心が広がっています。それはなぜだと考えますか。また、その改善に向けてどうしたらよいと思いますか。



# 日々の授業実践（生徒の回答など）

## 単元のまとめ

産業革命の歴史を踏まえ、次のA～Cに掲げる問題のうち、現代の日本において最も深刻であるとあなたが認識しているものを1つ選び、その現状について具体例を挙げ、さらに解決に向けたアイデアを提示しなさい。

A) 格差拡大

B) 環境破壊

**C) 労働問題**

最近、とても悪い状態になってきていると思う。ニュースでは寝る時間がある3時間、仕事に追われ自殺するという事件を見、労働問題が今一番深刻だと思った。これを解決するには、ブラック企業の改め、専門の調査員などが会社を調査したりすることが良いのかなと思う。

## 単元のまとめ

日本でも公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳まで引き下げられましたが、依然として投票率が低いなど政治的無関心が広がっています。それはなぜだと考えますか。また、その改善に向けてどうしたらよいと思いますか。

政治家たちの様々なお金問題などのあきれや若者の選挙の知識不足などから日本の投票率の低下につながっていると思います。改善するためにはもっと学校で選挙の授業など行えばもっと若者が選挙に行くとおもいます。

## 単元のまとめ

すべての人間の基本的人権（自由、平等）が革命などの出来事を通じて獲得されたものであることを学習しました。とはいえ、現代を生きる私たちの社会には、さまざまな不自由や不平等があることも事実です。より自由で平等な社会をつくり上げるために必要なこと、大切なことについて、具体例を挙げるなどしてあなたの考えを述べなさい。

今では少し増えてきていますが女性の政治家はとても少ないと感じます。女性の声を聞くことも大切なので女性が少ないのは不平等だと思います。そのための政治家は男性の仕事だ。などの固定観念を持つことが大切だということ。

# 地域の教育資源を活用した体験的学習

## 1年「縄文体験学習」 (北黄金貝塚公園)

### 〈活動内容〉

- ・学芸員(専門家)による  
事前講義
- ・貝塚内散策(学芸員に  
よるガイド)
- ・植樹活動(縄文の森再  
生プロジェクト)
- ・火おこし体験
- ・縄文食文化体験(縄文  
ハンバーグづくり)



# 地域の教育資源を活用した体験的学習



## 〈世界史・日本史との関連〉

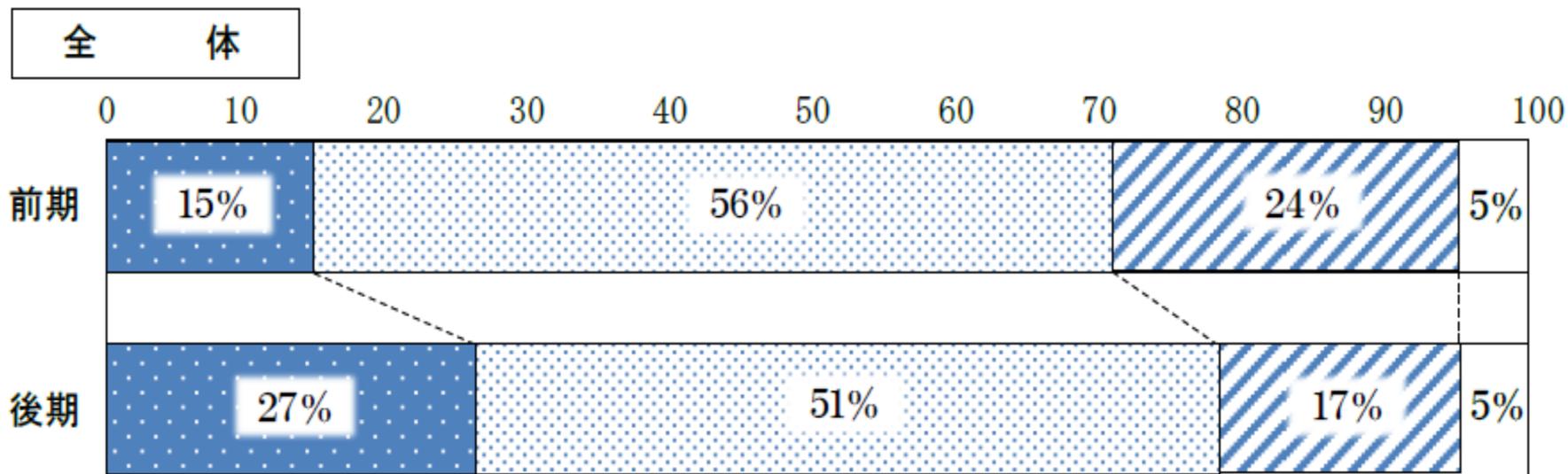
- ・世界史の中の縄文文化
- ・縄文人のものの見方や考え方（現代との相違）

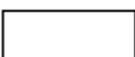
## 〈日本史（世界史）・地理との関連〉

- ・地形や気候などの環境変化

# 生徒の変容（全体）

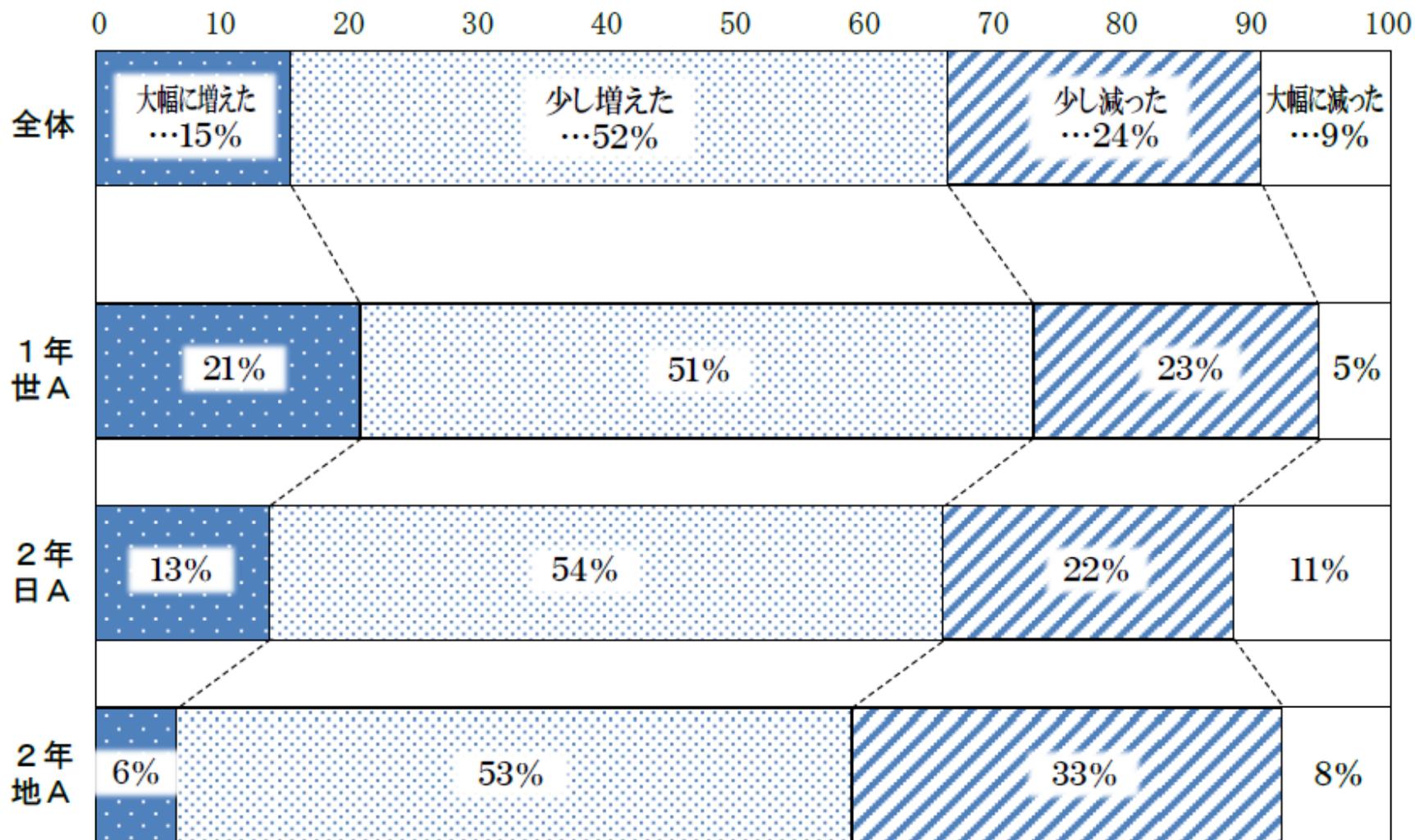
地理歴史の授業について意欲的に取り組んでいるか



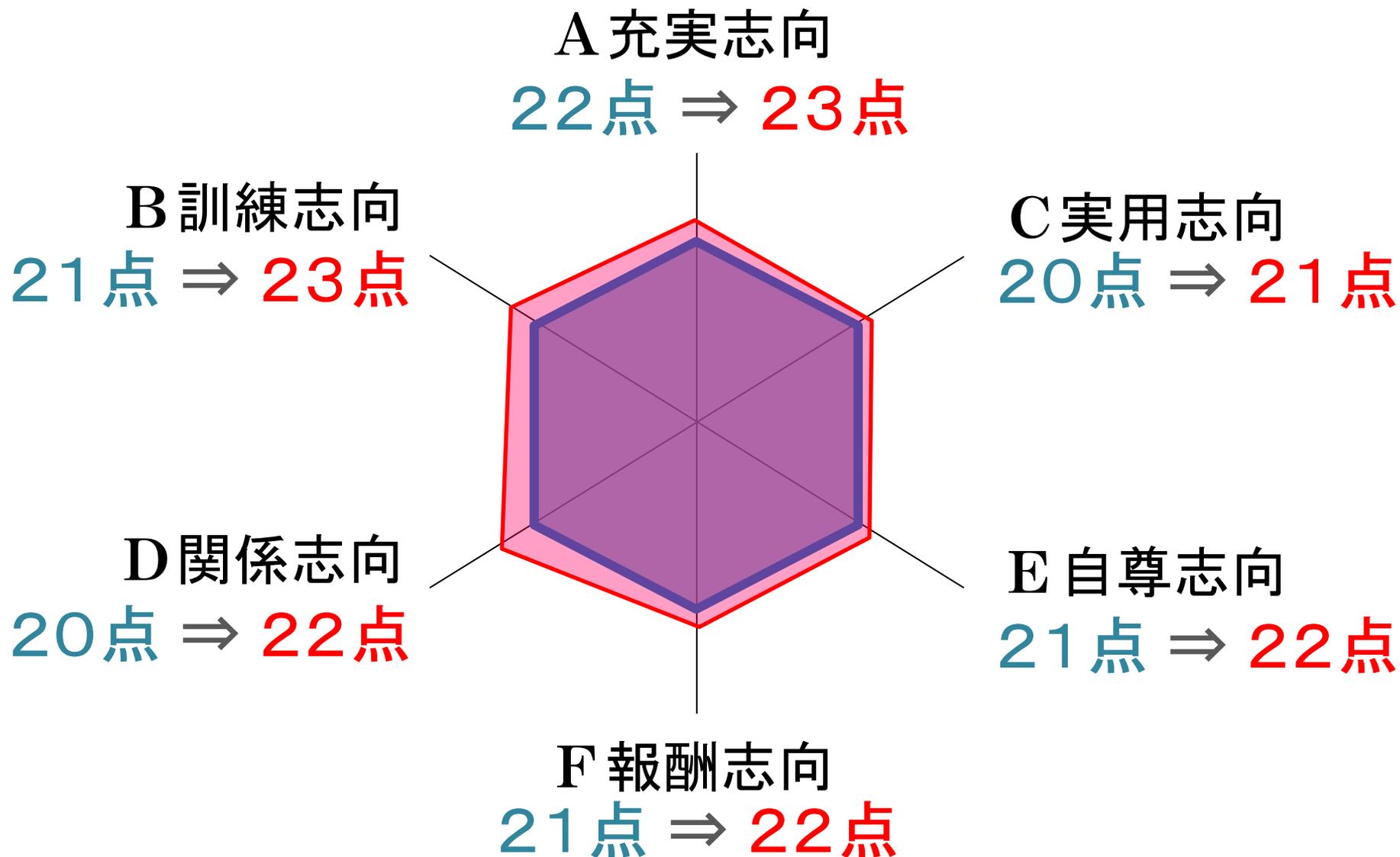
-  意欲的に取り組んでいる。
-  どちらかといえば、意欲的に取り組んでいる。
-  どちらかといえば、意欲的に取り組んでいるとはいえない。
-  意欲的に取り組んでいるとはいえない。

# 生徒の変容（全体）

年度当初（4月）に比べ地理歴史の学習時間は増えたか



# 生徒の変容 (全体)



# 生徒の変容 (全体)

A 失敗に対する柔軟性

21点 ⇒ 17点

※やや低下



失敗から改善を図る・成長する力  
答えよりも考え方を重視

B 思考過程  
の重視

19点 ⇒ 18点

D 意味理解  
志向

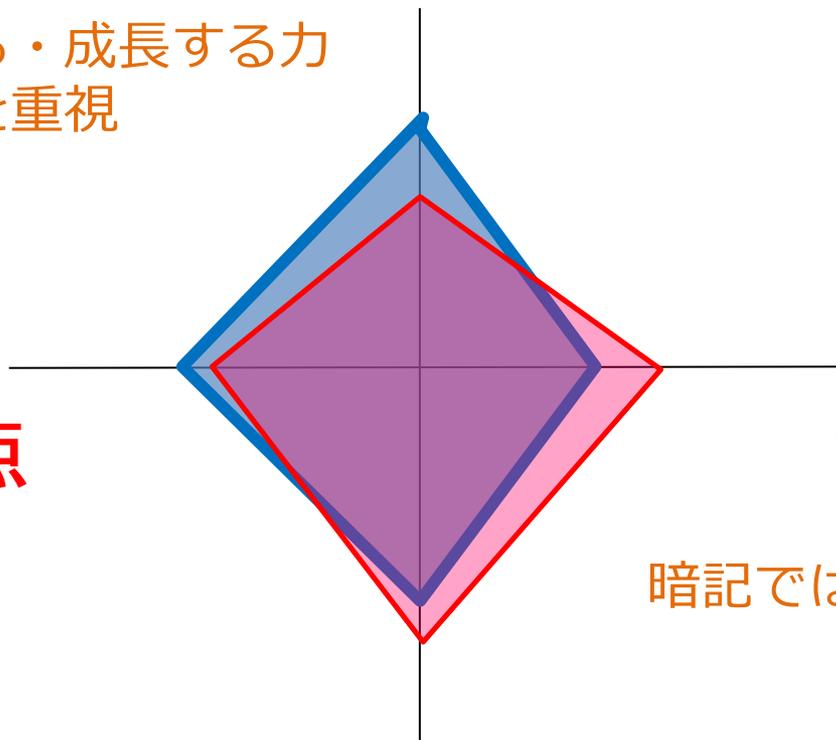
15点 ⇒ 17点

暗記ではなく意味を理解する  
学び方を工夫する

C 方略志向

18点 ⇒ 19点

※やや上昇



# 生徒の変容 (継続的に授業した「世界史A」のクラス)

ペーパーテスト (定期考査) の平均点の推移

前期中間

54.1

(平均点)

前期期末

54.0

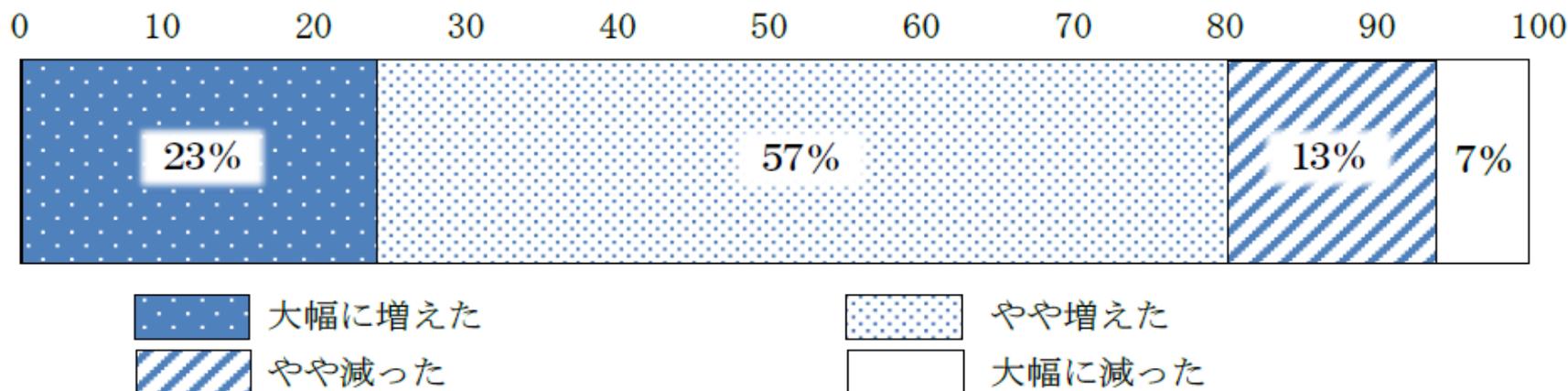
(平均点)

後期中間

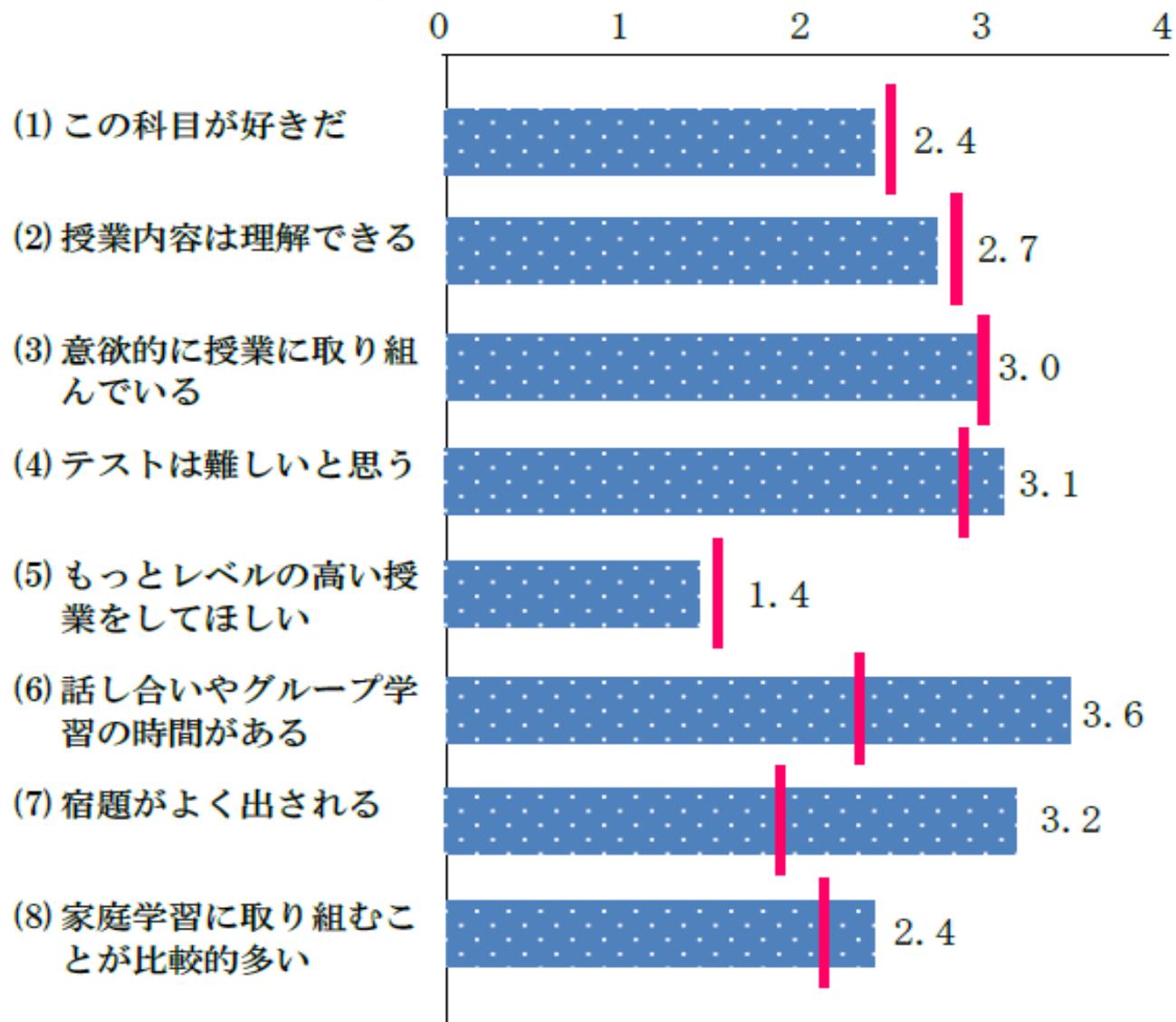
59.5

(平均点)

世界史の学習時間は増えたと思うか



# 生徒の変容 (継続的に授業した「世界史A」のクラス)

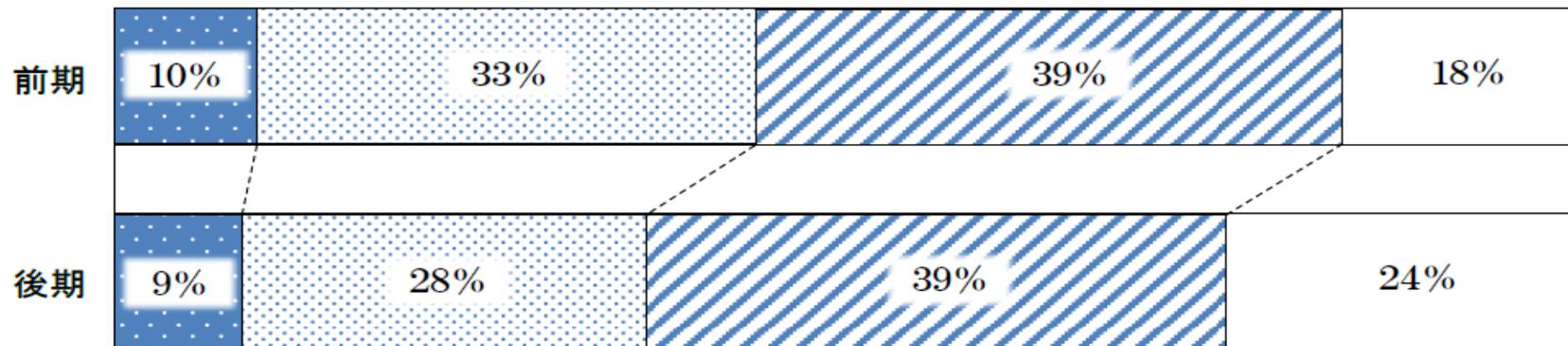


※ 4段階評価 (4点, 3点, 2点, 1点) として平均点を算出

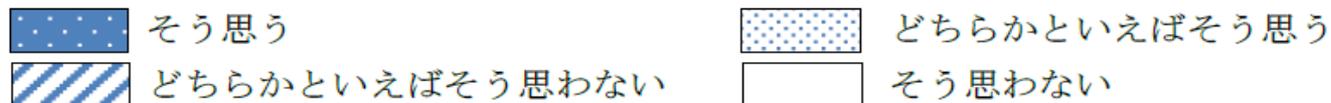
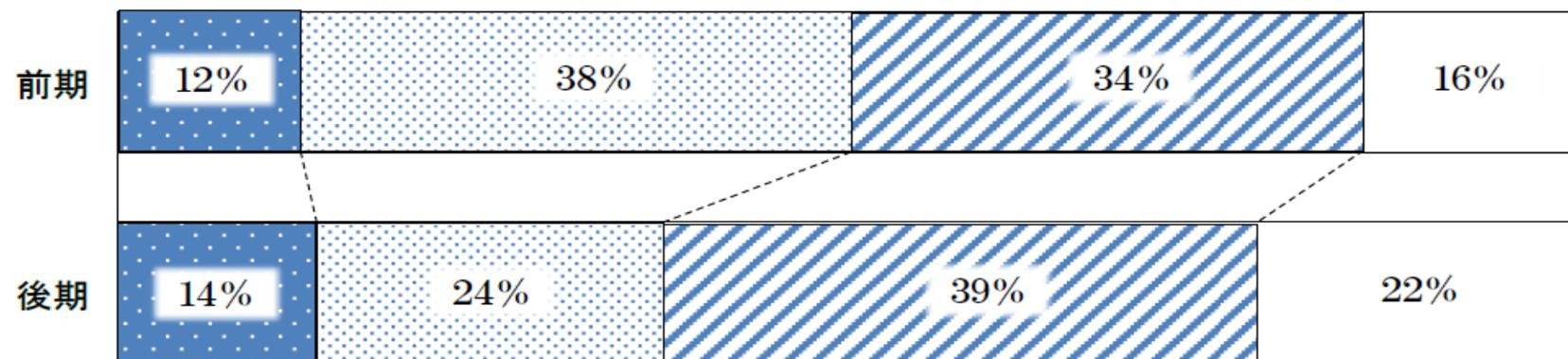
理科・外国語) 5教科 (国語・地歴公民・数学) すべての平均

# 生徒の変容 (継続的に実施した「世界史A」のクラス)

## 世界史の授業を必修とすべきか

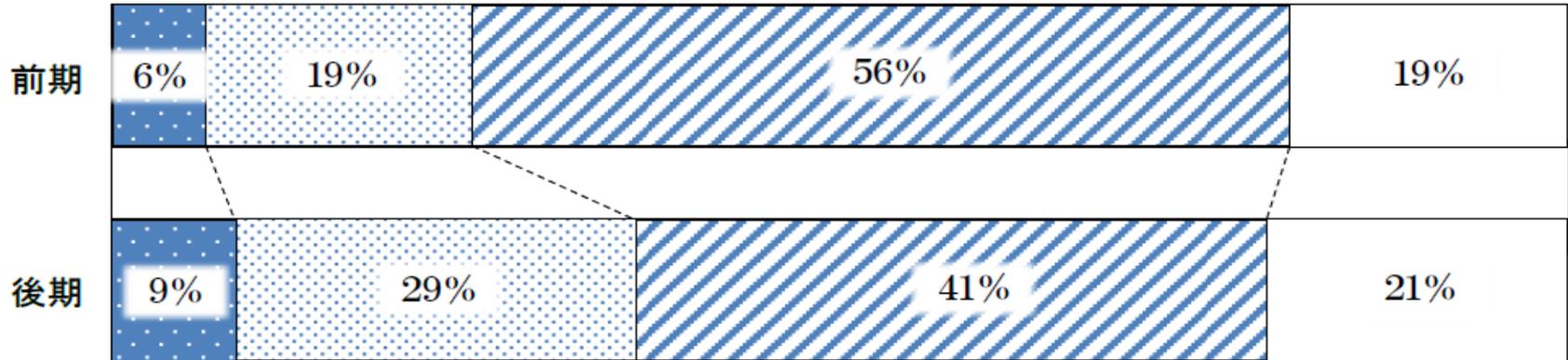


## 世界史を学ぶことは好きか

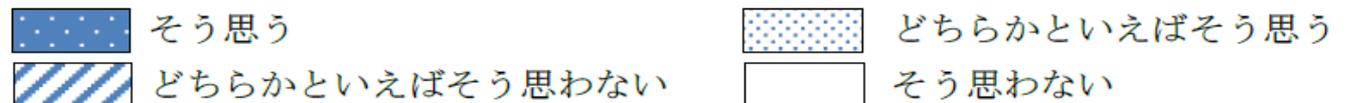
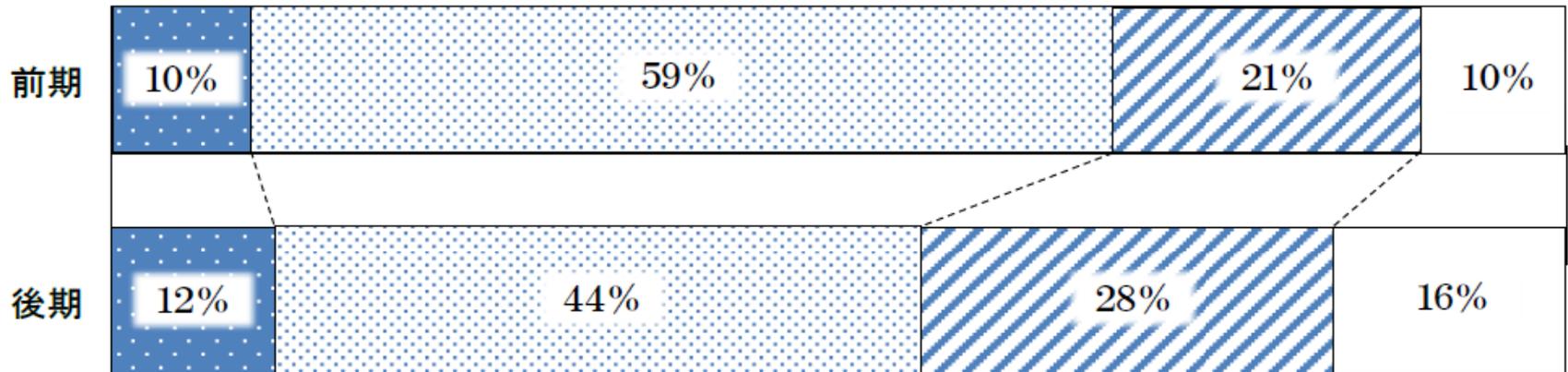


# 生徒の変容 (継続的に実施した「世界史A」のクラス)

世界史は将来の仕事や生活に役に立つか

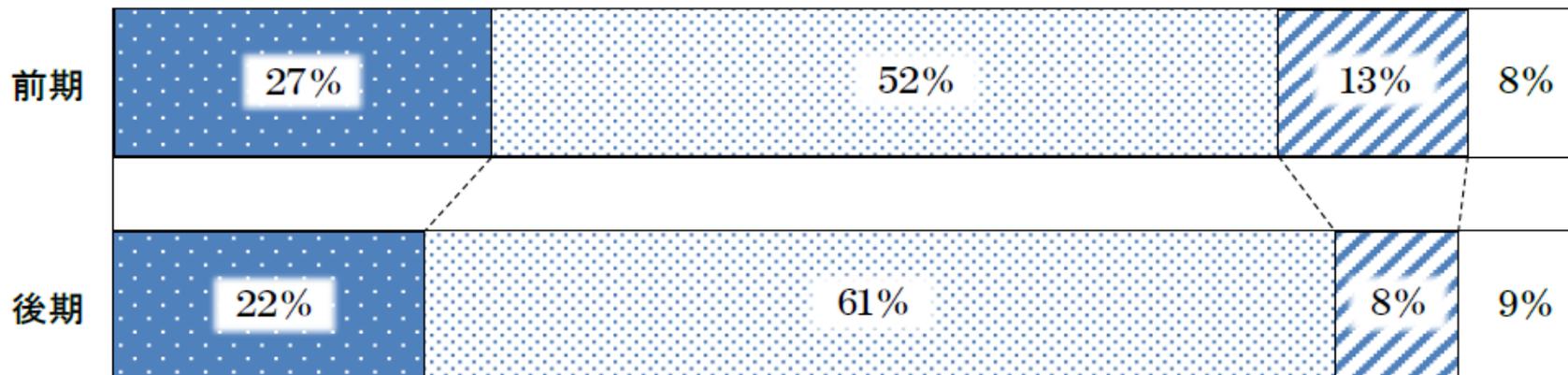


世界史を学ぶことは大切か

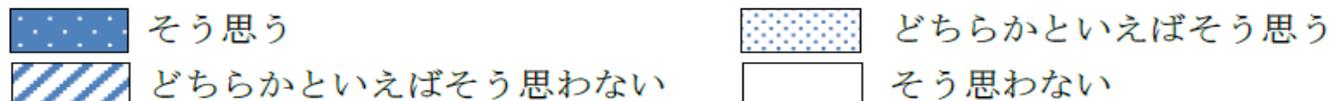
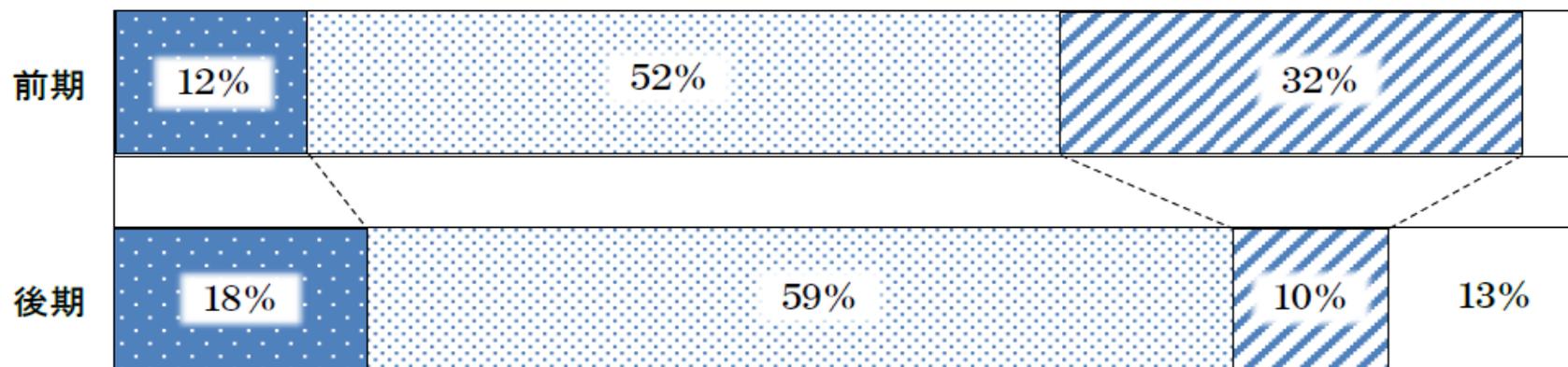


# 生徒の変容 (継続的に実施した「世界史A」のクラス)

世界史と日本史との関連を学ぶことは大切だと思う

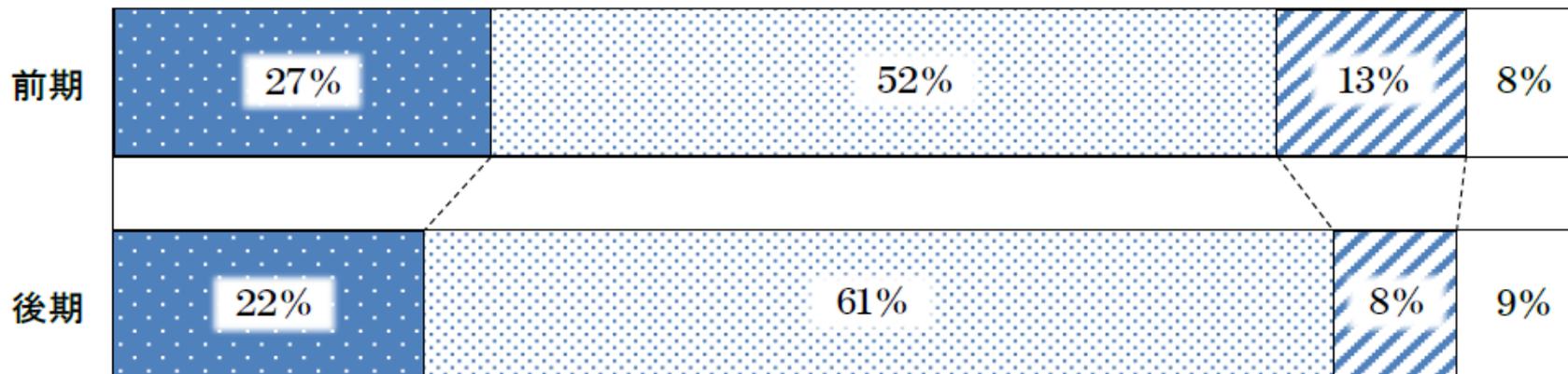


世界史の授業を意欲的に取り組んでいると思う

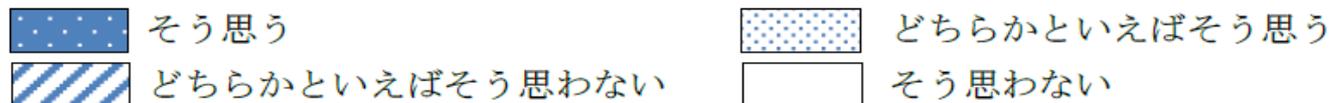
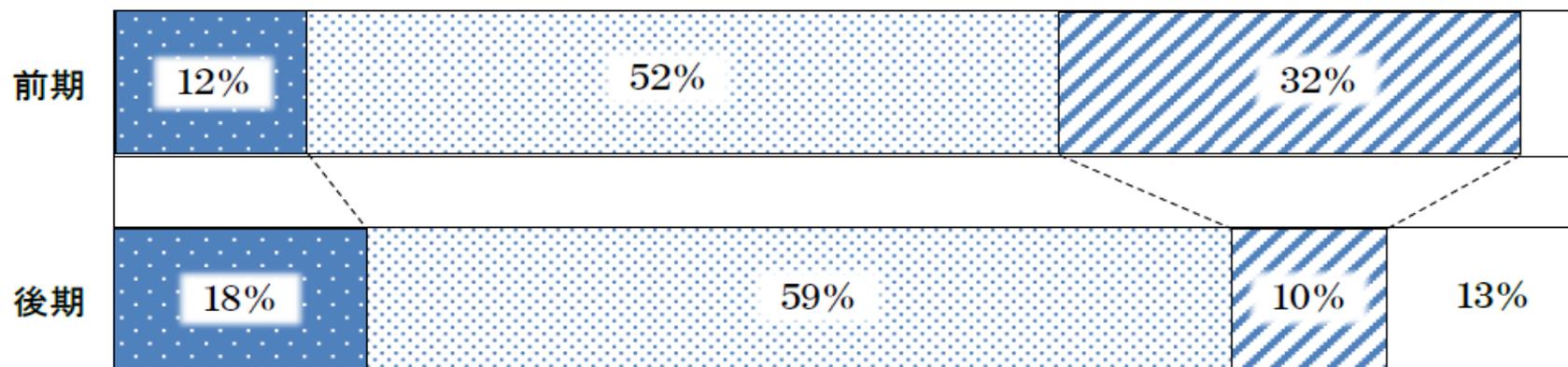


# 生徒の変容 (継続的に実施した「世界史A」のクラス)

世界史と日本史との関連を学ぶことは大切だと思う

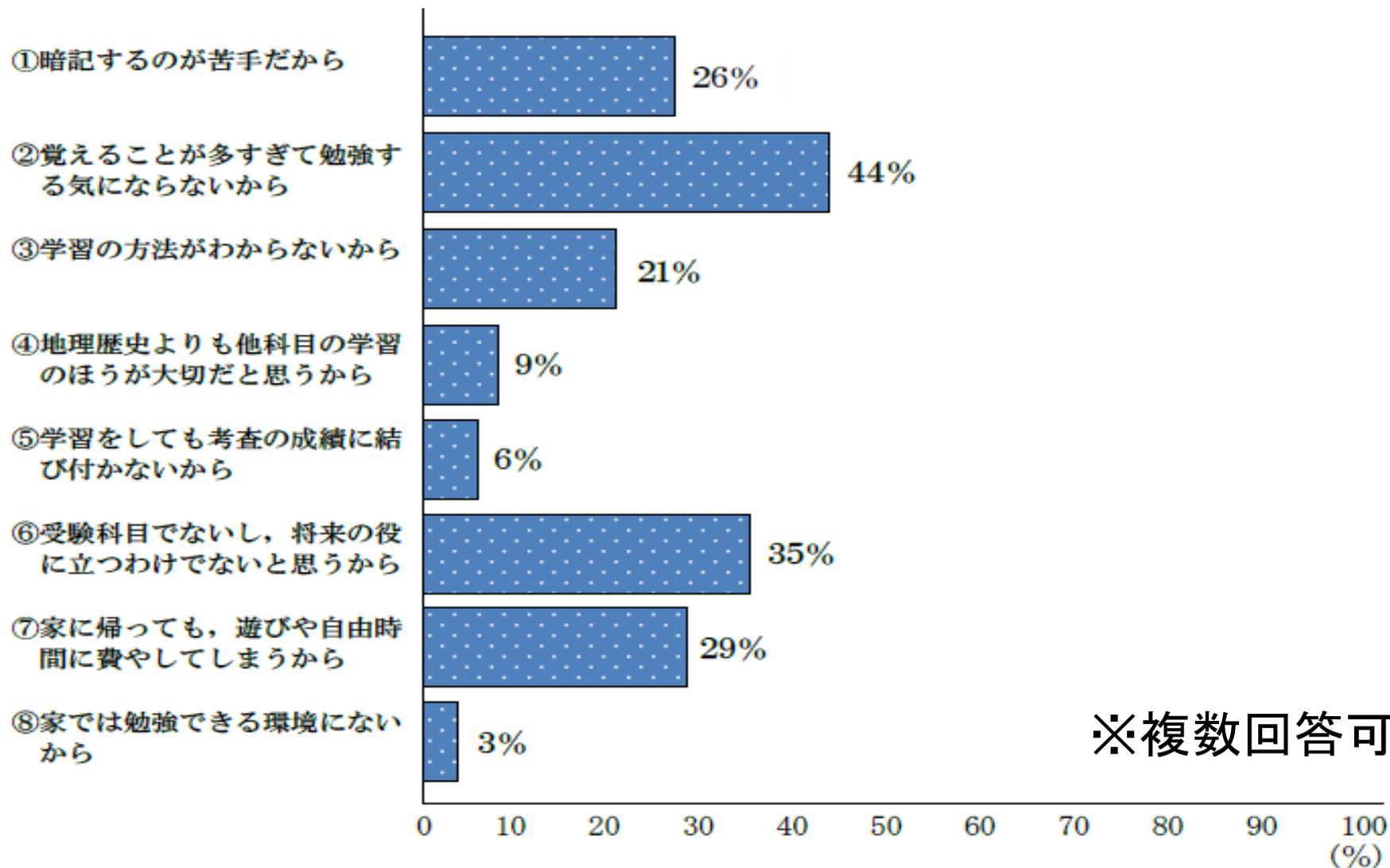


世界史の授業を意欲的に取り組んでいると思う



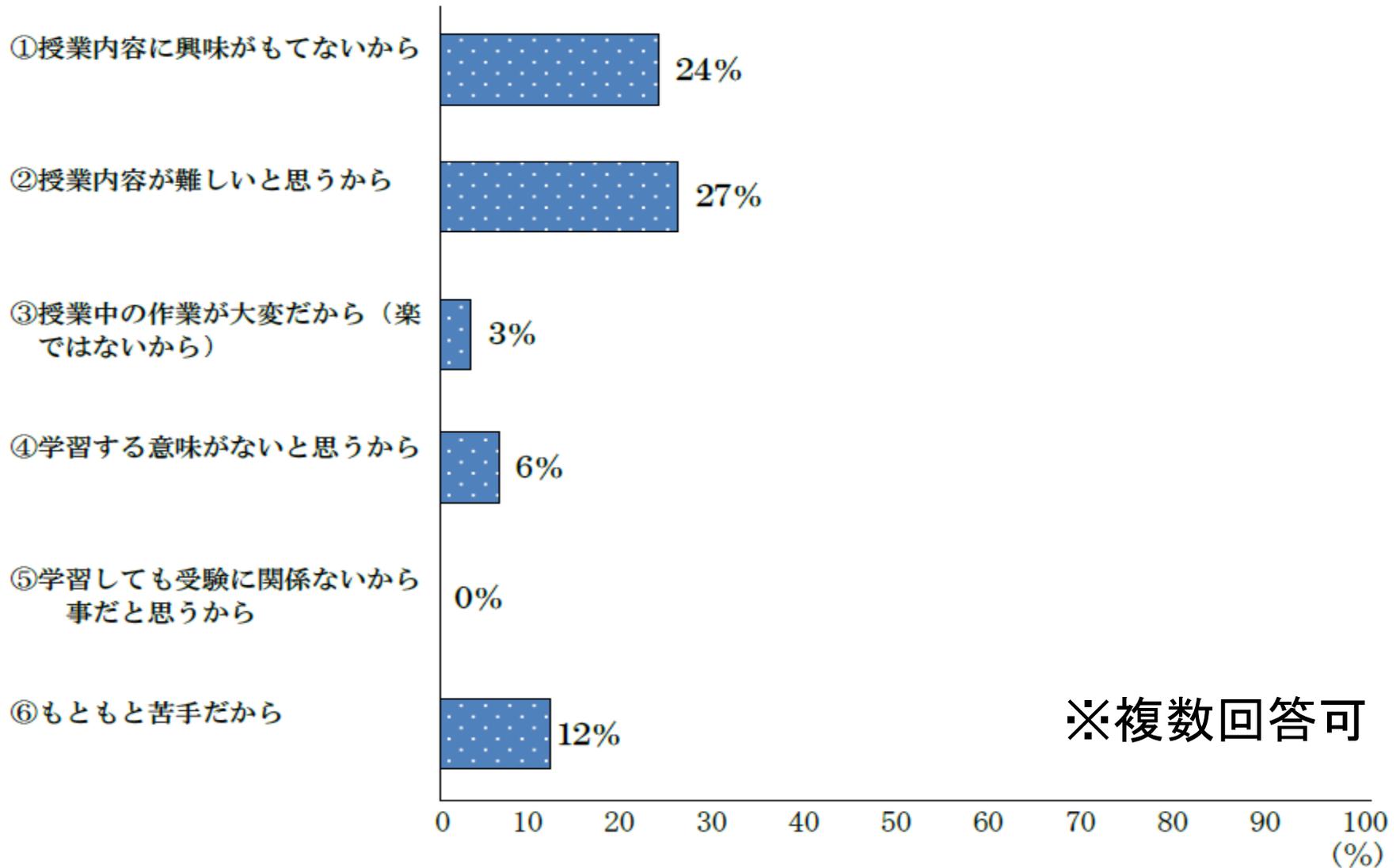
# 生徒の変容 (継続的に実施した「世界史A」のクラス)

## 世界史の家庭での学習時間が減った理由



# 生徒の変容 (継続的に実施した「世界史A」のクラス)

## 世界史の授業に意欲的でない理由



# 生徒の変容 (継続的に実施した「世界史A」のクラス)

自由記述 (A→世界史を学ぶ意義 B→授業への感想意見)

A→ 世界で起きた出来事を学び、日本の歴史と結びつけて学習することで、このようにして、今にいたったかを学び、誤りがあれば今後おきないように行動する。

B→ 教科書にのっていない所も、説明があるので関連づけて覚えることができると思う。カ「ルー」活動も多々あるので、自分が理解できてない所もその場で聞くことができるので良いと思う。

A→ 日本と外国のつながりを知りたいには世界史を学ぶことも大切だと思います。外国で何が契機で日本とつながりをもったのかが知れるから。

B→ 板書の字が見やすい、読みやすい。カ「ルー」活動が多々あるので、飽きずらい。楽しいから良いと思います。あとほとくには「よい」です。

A→ 昔、世界であったこと、日本とのつながりを理解し、将来に役立つ(私たちが心の社会) 友になつたときに、同じあやまちほとくをしつためにはとてモス事にはとたから。

B→ グループワークがたくさんあるところがとても良いと思う。その中でも一人一人が意見をちゃんと伝えるような取り組みをしているのも良いと思う。

A→ 今、世界で起こっていることがなぜうまれてしまったのか、歴史を学ぶことでちゃんと理解してこれから社会に出たときに直せば変わるかもという考えを教えるため。

B→ おもてすることをただDに出すのではなく、なぜこうなってるだろうと考えさせた後に、グループにおいて話し合うのが考えを共有できるので、一番いいなと思いました。

# 生徒の変容 (継続的に実施した「世界史A」のクラス)

自由記述 (A→世界史を学ぶ意義 B→授業への感想意見)

A→世界の歴史の発展にともない日本も発展してきたと思うから。世界と日本の歴史は切り離せないものだし、重要な関係性をもっていると思うから。

B→グループワークが多いいからとても楽しいし、みんなの意見などが聞けて良いと思う。でも、調べるところが多かったり、何を調べるのか分かりづらいところが多いためから大変。

A→日本や他の国の歴史、地理を学ぶことで、その国について良く知ることが出来る。

B→グループワークや、ペアワークなどで学ぶことはとてもためになると思います。宿題がしんどいから多いです。

A→日本とのつながりがある、たりするので、どの国との関わりなどを学んだりしていくことが大切だと思うから。

B→プリント学習も良いけど、細かい内容などを板書して、教えてもらいたい。グループ学習をすることで、他の意見を聞いて学ぶから良かった。

A→多様な考え方の原点を知れたり、日本と世界のつながりや、日本の良いところ、他国の良いところなどを比較してたくさんを知れる。

B→良い点は、グループワーク、ペアワークを適度に行っている。板書もポイントが明確なところ。改善点ですが、教科書から展開した授業をしていただきたいです。

# 今後の課題（次年度に向けて）

①授業は概ね主体的・意欲的に取り組んでいるものの、内容理解・意味や意義を捉えさせることについては課題が残った（成果が出た生徒とそうでない生徒とで二極化した）

⇒ 苦手意識を感じる生徒に対するアプローチ

- 年間指導計画と単元構想の見直し
- 評価の工夫
- 学習活動のバランス

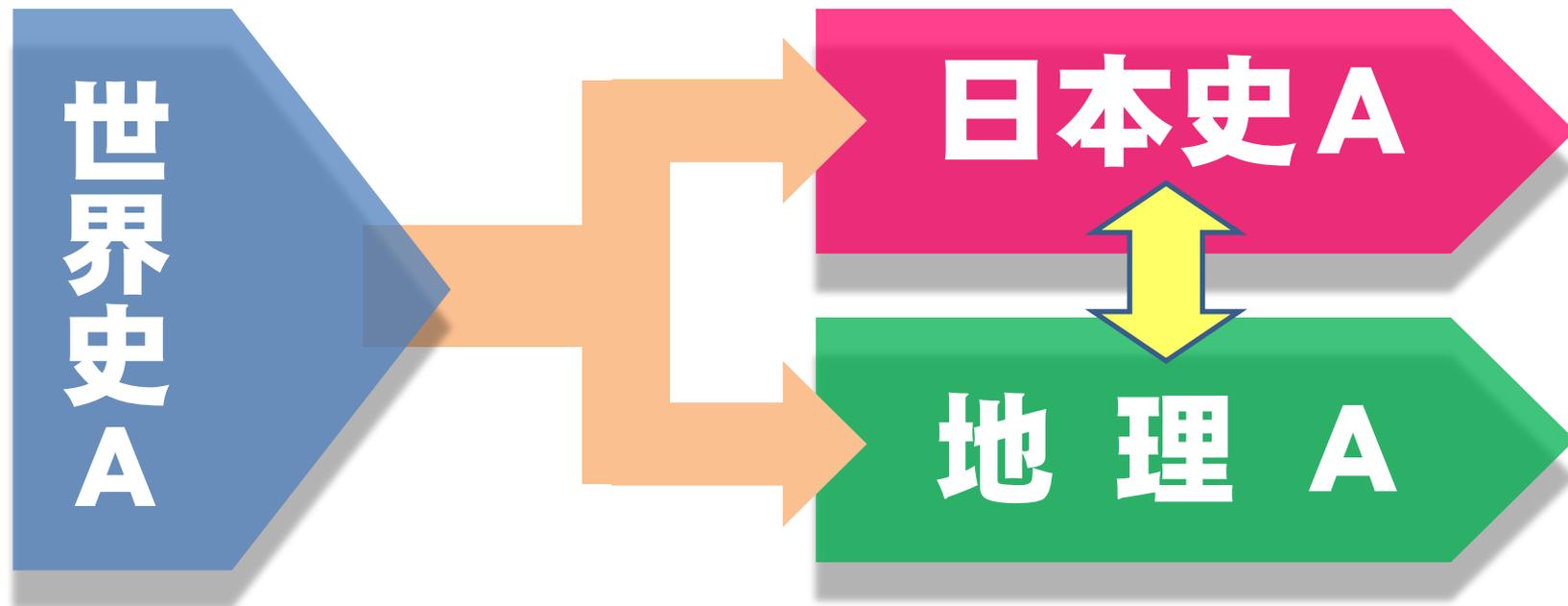
②科目相互の連携を図る（＝習ったことどうしの関連に気付く・意識する）ことで、社会的事象への興味・関心や、課題追究意欲を高めさせることができるのではないかと考える。

# 今後の課題（次年度に向けて）

## 【本校の教育課程（地理歴史）】

1年次（必修）

2年次（選択）



- 「世界史 A」で培った歴史的な見方・考え方を活かした「日本史 A」及び「地理 A」の授業実践
- 地理科目と歴史科目との関連付け

平成28・29年度 国立教育政策研究所  
「教育課程研究指定校事業(地理歴史)」研究協議会

# 地理歴史科の 科目相互の連携を図った 授業実践の研究

ご清聴ありがとうございます  
ございました

✿ 北海道伊達緑丘高等学校

◇日時◇ 平成29年2月9日(木)  
◇会場◇ ビジョンセンター東京

